

デジタル田園都市国家構想推進事業について

本事業の目的

博物館、美術館、社会教育課社会教育担当及び文化生涯学習課市史編さん担当が所有する知的財産（史跡、図書、写真など）を搭載した茅ヶ崎版のデジタルアーカイブを構築。

※将来的に市民、企業などが所有する資料も搭載する参加型アーカイブを目指す

アーカイブに搭載した知的財産を活用し、市内のスポットを訪れた利用者が知的財産の情報を収集するなど、学習意欲が湧くスマートフォンアプリを実装

アーカイブやアプリを活用した出前講座やICTを使った講座を行うために必要なWi-Fi環境を、博物館公民館、青少年会館及び図書館に整備

活用のメリット

強靱化 対策

- ・首都直下型地震など本市に大きな被害をもたらす大規模災害に備え、市が所有する知的財産を保護し、復旧・復興に向けた準備。（事前復興）
- ・新たな感染症のまん延など、学校以外で児童生徒の学習が継続できる準備。（事業継続、教育）
- ・風水害などの一時避難所となる公民館等で、避難者が災害情報等をインターネットで取得できるようにする。（防災）
- ・災害時の電話回線の輻輳に備え、避難者情報などを市統括調整部へ伝達しやすくする。（防災）

知的財産 の活用

- ・市内の小中学校における総合的な学習の時間、社会科などで行う郷土学習に活用（学校教育）
- ・社会教育施設における主催講座や博物館の出前講座などに活用（社会教育）
- ・トライアル・ステイプロモーションなど市外居住者へ茅ヶ崎の魅力を伝える施策に活用（シティプロ）
- ・周遊マップ、地域情報サイトなどに掲載されるオススメスポットの情報（シティプロ・観光、企業）
- ・大学などの研究機関における郷土史研究に活用（大学など）

事務 改善

- ・資料を一般公開することにより、電話・メールでの資料に関する問い合わせの削減
- ・資料登録・整理のルールを標準することによる事務の効率化

茅ヶ崎版デジタルアーカイブのイメージ

茅ヶ崎版デジタルアーカイブ

それぞれが持つ資料をデジタル化し、ひとつのデータベースに搭載。
キーワードや分野で、所有するデータを検索できるように設える。
構築後、ジャパンサーチと連携し、全国・海外からも検索しやすいようにする。

博物館

土器、石器、標本、
写真など

図書館

市報、浮世絵、
絵葉書、地図など

市史編さん

写真、刊行物など

(美術館)

絵画、版画、彫刻
など

データ連携



JAPAN SEARCH

国内のデジタルアーカイブをつなぎ、
資料を検索できるWebサイト

資料検索



資料検索



スマホやPCから、茅ヶ崎版デジタルアーカイブ
やジャパンサーチにアクセスし、資料を検索

スマートフォンアプリのイメージ

小田原さんぽ

小田原の観光スポット情報やモデルコース情報、AR機能を利用して現存していない建物を3DCGで蘇らせる仮想空間体験などをアプリケーションで楽しめるもの。

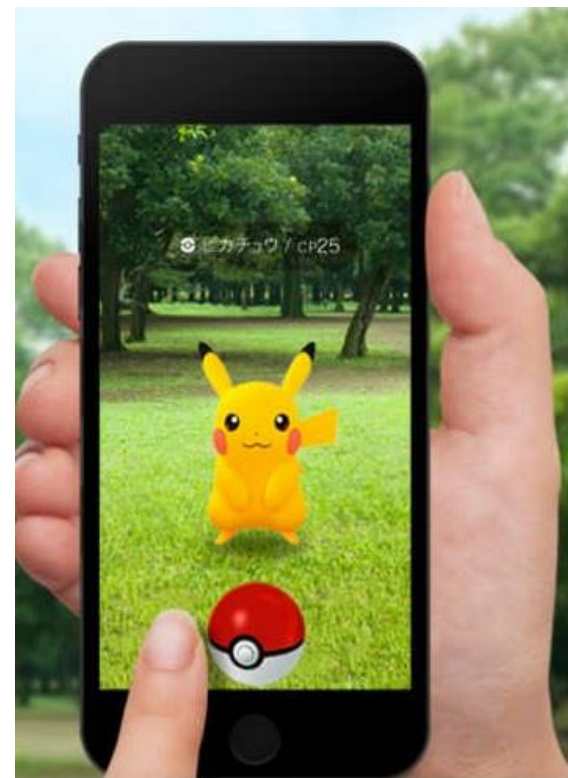
(写真：小田原市HP)



ポケモンGO

スマホのGPS機能により、ユーザーの現在地とリンクするARゲーム。実際に街を歩きながらポケモンを集め、育成を楽しむゲーム。収集という面では、ユーザーオリジナルのアーカイブを作成するのと同様のもの。

(写真：ファミリーマートHP)



Wi-Fi環境の整備

博物館、公民館、青少年会館及び図書館にWi-Fi環境の整備（体験学習センターは整備済）。

整備箇所は、一般利用が多いフリースペースや面積の広い講堂や大会議室とする。

| 施設名 | 整備箇所 | 整備しない箇所 |
|--------|--|---|
| 博物館 | 市民交流スペース、ボランティア展示スペース 基本展示室、企画展示室、資料整理室、事務室 | 収蔵庫、展示準備室 |
| 小和田公民館 | 1 F ホール、1 F 講義室、事務室 2 F 学習室1・2 | 和室、実習室 |
| 鶴嶺公民館 | ロビー、1 F 講義室、2 F 学習室2、事務室 | 1 F 子供室、2 F 学習室1、実習室、和室 図書コーナー |
| 松林公民館 | ロビー、1 F 講師室、2 F 学習室2、事務室 | 図書室、2 F 学習室1、実習室、和室 |
| 南湖公民館 | ロビー、1 F 講義室、2 F 学習室、事務室 | 1・2 F 和室、2 F 会議室、実習室 |
| 香川公民館 | ロビー、1 F 講義室、2 F 学習室、事務室 | 1・2 F 和室、2 F 小会議室、実習室 2 F 大会議室 |
| 青少年会館 | ロビー、1 F 研修室1・2、美工室 事務室、2 F ホール | トレーニング室、図書室、ボランティアルーム 2 F クラブ室、音楽室、和室 |
| 図書館 | 1 F 交流スペース、2 F 読書室、2 F 会議室1、 事務室 | 1 F 新聞雑誌コーナー、配架貸出室、2 F ラウンジ、2 F レ ファレンス室、AV資料室、2 F 会議室2・3、会議室（和 室）、倉庫 |



令和4年度スケジュール

- ・ デジタルアーカイブとアプリの開発は、公募型のプロポーザルで発注。その他は一般委託とする。
- ・ 関係課と使い勝手やそれぞれの分野での活用方法を考えながら、構築を進める。

